

《専門教育科目 専門基礎科目》

| | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 道徳 | | | | |
| 担当者氏名 | 長谷 充康 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・春期 |

《授業の概要》

『道徳とは何か』について考える。日本及び世界の道徳観のよって来たる所を知り、また現代社会の道徳および道徳観について考察する。また、自らの道徳観を知り、互いの存在を認め合える価値観・人間観を深める。

《授業の到達目標》

『道徳』の意義とそのよって来たるルーツに対する認識を深める。また、自らの道徳観を育て、意見として発表することで、社会性・責任感の向上を図る。人の意見を聴き自分の考えを文章で表記する力も育てたい。

《成績評価の方法》

感想文・レポート（40点） 発表等（20点） テスト（40点）

《テキスト》

講義内配布文書による。

《参考図書》

小寺正一／藤永芳純著『道徳教育を学ぶ人のために』世界思潮社 北野 武著『新しい道徳』幻冬舎 長谷 充康著『若き先生たちに』

《授業時間外学習》

本（文学書・児童書・新書等）を読み、自らの思考を深める。日常において、ニュース等をよく見、現代社会の進歩や課題についての考察を深める。

《備考》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容など |
|----|-------------|---------------------------------------|
| 1 | はじめに | 講座のガイダンスとともに、人類の発達と道徳について考える。 |
| 2 | 道徳性の発達 | 人間の成長と道徳性の発達との関連について学ぶ。 |
| 3 | 道徳性の4つの側面 | 道徳性の4つの側面について、身近な事例とともに理解する。 |
| 4 | 諸外国における道徳教育 | 諸外国の道徳教育の特徴を学び、自国における道徳教育の歴史についても考える。 |
| 5 | 道徳と宗教 | 日本人は、無宗教と言われる。宗教と道徳の関係について考える。 |
| 6 | 道徳とスポーツ | 事例や経験と照らし合わせながら、道徳とスポーツとの関係について考える。 |
| 7 | 道徳と文学 | 文学・物語（教材）に現れる道徳性について考える。 |
| 8 | 道徳と音楽 | 道徳性の発達と音楽との関係について考える。 |
| 9 | 道徳と心理学 | 心理学にあらわされた“愛”と道徳との関係について考える。 |
| 10 | 道徳と哲学 | 哲学にあらわされた“環世界”の概念と道徳の関係について考える。 |
| 11 | 道徳と社会 | 道徳性を養うことと現代社会との関係について考える。 |
| 12 | 道徳とアイデンティティ | アイデンティティと道徳教育との関係について考える。 |
| 13 | 道徳と伝統・文化（1） | 日本の伝統・文化の中で生まれ、育まれてきた道徳について考察する。 |
| 14 | 道徳と伝統・文化（2） | 日本の伝統・文化の中で生まれ、育まれてきた道徳について考察する。 |
| 15 | まとめ | まとめとテストを行う。 |